中2 歴史 近世 穴うめ（20問）　版Cの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 喜望峰を回り1498年にインドに着いたのは（　　）だ　　バスコ・ダ・ガマ（ヴァスコ・ダ・ガマ・バスコ＝ダ＝ガマ でも正解）

(2) 市の税を免除し、座の特権をなくした政策を（　　）という　　楽市・楽座（楽市楽座・楽市令 でも正解）

(3) 全国の田畑を調べ、収穫量を石高で表した政策を（　　）という　　太閤検地（検地 でも正解）

(4) カトリック教会の中でつくられ、宣教師を送った団体が（　　）だ　　イエズス会

(5) ポルトガル人やスペイン人と行われた貿易を（　　）という　　南蛮貿易

(6) 徳川家の一族の大名を（　　）という　　親藩

(7) 朱印状を与えられた船が東南アジアで行った貿易を（　　）という　　朱印船貿易

(8) 外国との交流を制限した江戸幕府の体制をのちに（　　）とよんだ　　鎖国

(9) 将軍がかわるごとなどに朝鮮から送られた使節を（　　）という　　朝鮮通信使（通信使 でも正解）

(10) 1603年に征夷大将軍となり江戸幕府を開いたのは（　　）だ　　徳川家康

(11) 5戸ずつまとめて連帯で責任を負わせたしくみが（　　）だ　　五人組

(12) 8代将軍が定めた裁判の基準となる法律を（　　）という　　公事方御定書

(13) 株仲間をすすめ、商業の力を利用した老中は（　　）である　　田沼意次

(14) 19世紀半ばに天保の改革を行った老中は（　　）である　　水野忠邦

(15) 都市の人々が米を買い占めた商人の家をおそうのが（　　）だ　　打ちこわし（打毀し でも正解）

(16) 働き手を作業場に集めて分業で製品をつくるのが（　　）だ　　工場制手工業（マニュファクチュア でも正解）

(17) 『富嶽三十六景』をえがいた浮世絵師は（　　）である　　葛飾北斎

(18) 17世紀末に京都や大阪の町人を中心に栄えた文化を（　　）という　　元禄文化

(19) 杉田玄白らがオランダ語の解剖書をほん訳した本が（　　）だ　　解体新書

(20) 町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだのが（　　）だ　　寺子屋